

身体障害者補助犬の同伴について

当院では、身体障害者補助犬の**同伴を受け入れます。**

身体障害者補助犬は特別に訓練された犬で、公共施設での同伴が認められています。院内で補助犬を見かけた際は、静かに見守ってください。※身体障害者補助犬以外の動物(ペット)同伴の来院は固くお断りします。





受け入れ可能な身体障害者補助犬

盲導犬	白色または黄色のハーネス(胴輪)をつけています。
介助犬	胴体の見やすい位置に「介助犬」の表示札がついています。
聴導犬	胴体の見やすい位置に「聴導犬」の表示札がついています。

院内での身体障害者補助犬の同伴区域

当院は病院職員が身体障害者補助犬ユーザーの補助を行いご案内いたします。

補助犬同伴 可能区域		<ul style="list-style-type: none">・1階ロビー・売店(1階)・レストラン(入院棟1階)	<ul style="list-style-type: none">・エレベーター・各外来待合・一部診察室^{※1}(2階～6階)
補助犬同伴 禁止区域		<ul style="list-style-type: none">・休憩コーナー(入院棟1階)・救急部(入院棟1階)	<ul style="list-style-type: none">・入院棟(2階～19階)^{※2}・処置室

上記において同伴をご希望の方は、事前に連絡ください

※1 診療科でご相談ください。

※2 入院される場合は原則として補助犬の同伴はお断りしています。

補助犬同伴者の方へ

立ち入り時に補助犬である旨を目視確認いたします。

場合によっては「身体障害者補助犬認定証」を確認させていただきます。

補助犬を見かけたら(補助犬に関する注意事項)

補助犬は同伴者の身体の一部です。また補助犬は特別な訓練を受け、適切な行動がとれるようにしつけられています。

補助犬はペットとは違い、使用者のお手伝いをするという大切な「仕事」を担っています。そのため院内で補助犬を見かけた際には、あたたかくお見守りください。

- 補助犬に話しかけたり、触ったり、口笛を吹くなどの行為はおやめください。
- 食べ物や水は絶対に与えないでください。

※犬のアレルギーをお持ちの場合ご自分で離れるか、病院職員にお申し出ください。

